

## 資料 5 県立病院の施設更新に係る将来推計

---

# 今後の企業債償還額(推計)～長寿命化分～

- 県立病院について、今後の老朽化に対して長寿命化のみで対応する場合、企業債償還額については、磐井・南光病院、中部病院の新築、大船渡病院の大規模改修の影響等により、令和5年度にピーク(約74億円)を迎え、その後、令和21年度まで減少傾向となる見込み。
- 一方で、長寿命化対策に係る建設事業費の増加などにより、令和21年度頃から再び企業債償還額が増加し、令和36年度頃に二度目のピーク(約52億円)を迎える見込み。
- 長寿命化のみを実施した場合においても、今後の企業債償還額の推計を踏まえれば平準化を一定程度図っていく必要。

